

(様式第 5 号)

市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	代表実施団体	特定非営利活動法人オカヤマビューティサミット (担当者 柚木 幸子)			
	合同実施団体	(担当者)			
岡山市の担当課等	課名	子ども福祉課		電話	086-803-1221
	担当者	職名	課長補佐	職名	副主査
氏名		武 裕子	氏名	西田 貴	
事業の名称	シングルマザーの経済的自立に向けた資格取得・就労支援事業「結」				
達成した定性的効果と定量的効果 ※アンケートなどあれば添付してください。	<p>定性的効果</p> <p>●<u>修了生の意識や生活の変化と成長</u> 修了生(1期生)4名に対して、ヒアリングとアンケートを実施した。 <美容業に就労している2名> (A)仕事へのやりがい実感:2名とも「長く続けたい」という意向を確認 (B)子どもと過ごす時間の変化(時間が増えた):1名減少、1名増加 (C)収入の変化:2名とも増加 (D)その他修了生の声 ・収入も増えて、実家暮らしから次男との二人暮らしになり自立できている。長男の結婚も決まった。 ・一緒に居る時間は減ったが、子どもたちが家事を以前より手伝ってくれるようになり、家族関係は良い状況。</p> <p><その他の職種に就労している2名> ・1名は、美容業への採用が決まるも介護離職し、別の仕事に就労中。 ・1名は、美容業への関心は失せてはいないが、新型コロナウイルスの影響で接客業に対する不安を持っており、別の仕事に就労中。</p> <p><参考資料> ・「修了生【1期生】へのヒアリング」参照 ・「修了生【1期生】へのアンケート」参照</p> <p>●<u>修了生の仕事(就労先)への満足度や課題の把握</u> 就労に繋がっている2名に対し、ヒアリング等を実施し以下について把握した。 <満足度> ・今の職に就いたばかりの時も、話を聞いてくれたりしてありがたいです。 ・色々と話を聞いてくれるので嬉しい。勉強中の動画が良かった。今でもチェックしている。</p> <p><課題> ・定期的な面談や話を聞く機会を設けることで、より細やかな就労状況・家庭環境を把握していくこと</p> <p>●<u>採用企業の修了生への評価と、ひとり親の雇用への満足度や課題の把握</u> 採用企業1社に対しヒアリングを実施すると共に、ひとり親雇用への課題については34社に対しアンケート調査を実施し確認した。</p>				

<修了生への評価（採用企業）>

- ・全くの未経験者と違い知識なども持っているためお客様の満足度が高い。会社の力となっている。

<ひとり親の雇用への満足度（採用企業）>

- ・満足している。ひとり親でも技術や知識、接客スキルも持っているので特に問題はない。

<ひとり親の雇用への課題（岡山市内 34 社）>

- ・土日祝勤務困難、急な休み(子どもの熱等)といったことへの対応
- ・就労継続できるかどうかへの不安

<参考資料>

- ・「地域状況 企業の調査」参照

●受講生の今と将来に向けた意識の変化と成長

修了式後に実施したアンケートと、1 期生と 2 期生の交流会でのアンケートやその場での意見交換にて以下について確認した。

<意識の変化や成長が感じられたコメントなど>

- ・参加してみて分からなかったことや具体的な思いや方法などを聞いたのが良かったです。同じシングルとしての悩みやルーティンなども、誰にも聞いたことなかったので参考になりました。
- ・実際に就労している先輩の話や就職活動のことなど聞いて良かったです。イメージが少しずつ変わってきました。
- ・先輩の話を聞いてとても参考になりました。これから子供が自立して自分の時間ができた時、好きなことをしたいという言葉がとても響きました。自分の好きなことを仕事にして自分の人生を楽しむということをしていきたい。

<参考資料>

- ・「受講生満足度アンケート結果」参照
- ・「1 月 23 日交流会アンケートまとめ」参照

定量的効果

●今年度修了生(2 期生)11 名及び前年度修了生(1 期生)4 名に対して、
以下①～⑤について確認した。

- ①就労率/1 期生+2 期生：60%（15 名中 9 名・3/18 現在）
- ②就労定着率/1 期生：100%（4 名中 2 名・3/18 現在）
- ③就労後の所得状況(増収)の変化/1 期生：100%（2 名中 2 名・3/18 現在）
- ④ひとり親雇用の満足度/1 期生：100%（2 名中 2 名）
- ⑤講習満足度/2 期生：5 段階評価のうち、11 名中満足 7 名・ほぼ満足 4 名

<参考資料>

- ・「受講生満足度アンケート結果」参照

<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. 団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 技術習得のための講座の企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・7月～：月1～2回スクーリングの開始 ・9月5日：サロン研修 ・12月：最終スクーリング ・12月19日：修了試験及び修了式 ・1月23日：1期生2期生交流会 ② 就労支援(2期生) <ul style="list-style-type: none"> ・6月～：企業への求人票の送付 ・9月～：受講生面談実施(主にオンライン) ・10月～：就労面談及び就労マッチング ③ 修了後支援(1期生) <ul style="list-style-type: none"> ・6月、9月、12月(オンライン)に、就労定着支援と現況確認等の面談 ・8月、11月就労先企業へのヒアリング ④ ②③共に、その後もLINEなどで就労や現況のフォローをしている。 ⑤ 制度検討にかかる受講生や企業に対するアンケートやヒアリング調査の実施 <p>2. 岡山市の担当課(こども福祉課)が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 講座の周知広報 <ul style="list-style-type: none"> ・児童扶養手当受給世帯のうち中学生を持つ保護者へチラシを郵送 ・市民のひろばおかやまへの募集記事掲載 ・6福祉事務所へチラシ設置と、母子父子自立支援員への周知 ② 自立支援教育訓練給付金の対象となる、ひとり親就労支援講座としていくことができるかどうかの検討 ③ 制度検討にかかる受講生や企業に対するアンケートやヒアリング調査の実施と、調査票配布支援 <p>3. 協働した効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーにむけた周知広報の効果があり、応募者増につながった。 ・ひとり親世帯を対象としたアンケートについて、配布方法として岡山市のメール(親子応援メール)を活用すると共に、回答者特典としてビューティサミットの割引チケットを付して実施した。それにより90名からの回答を得ると共に、シングルマザーの支援をしている団体について広く知ってもらうことに繋がった。 ・スクールや企業へのアンケート調査実施に際し、美容業に関する専門知識を有するビューティサミットが案をつくり、協働で検討、できあがった調査票を市が配布した。協働で実施したことで、実態に即した内容でかつ団体だけでは実現し得ない調査を実施することができ、制度検討に必要なデータを集めることができた。
-----------------------	--

<p style="text-align: center;">事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<p>一人で働きながら子どもを育てている母親に対して、短期間で資格をとり、ダブルワーク・トリプルワークにならず仕事と育児の両立がしやすい就労につなげ、ひとり親家庭の経済的自立を図ることを目的として、以下(1)～(4)に取り組んだ。</p> <p>(1) シングルマザーの技術習得支援講座の拡充</p> <p>●資格取得コースの増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルコース (4名) ・ボディコース (4名) ・ネイルコース (4名) <p>※ 初年度はフェイシャルコース (4名) のみ</p> <p>●応募及び受講状況</p> <p>受講生(2期生)定員 12名に対し、25名の応募があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接を経て12名の受講生を決定。 (内、1名病気療養の為10月より休講 → 回復後再受講予定) ・令和2年12月19日最終修了試験 実技試験：11名全員合格・筆記4名不合格 → 再試験にて合格 <p>●講座改善のための受講生アンケートの実施</p> <p>2期生にアンケート調査を実施したところ、講座(自主学習・スクーリング)と就労支援(面談・マッチング)に対して、満足度が高い結果となった。</p> <p>※「受講生満足度アンケート結果」参照</p> <p>(2) 就労支援及び修了生支援</p> <p>① <u>就労マッチング (2期生の就労支援の取組)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談の実施 1回目：9月末～10月初旬、2回目：11月～12月末、3回目：1月～2月 ・1期生2期生交流会の実施 1月23日「先輩ママ(1期生)に聞く美容業に就いて」「座談会」開催 <p>② <u>賛同企業数の開拓 (拡大)</u></p> <p>賛同企業(※)の目標数：20社 求人募集について、187社に投げかけ26社が賛同した。 うち9社、20名の求人があった。 シングルマザーの雇用に関して、関心とニーズがあることは一定確認できた。 ※「賛同企業」とは、就労先/人材支援先を示している。</p> <p>③ <u>修了生へのアンケート・ヒアリング (1期生に対する支援の取組)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了生4名のうちの2名は就労支援を継続中 ・定期的な面談とアンケートを実施し、個別の状況に合わせた支援を実施している。 個別に、就労や家庭の事などの相談を聞き求人情報などを伝えている。 ・美容業へ就労している2名については、面談をし現在の悩みなどを個別に聞いている。 <p>④ <u>採用企業へのヒアリング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術や知識の習得、美容業への接客対応がきちんとできることなどが、有効だったことが明らかとなった。 ※ 申請当初は、アンケートも予定していたが、1社のみだったためヒアリングのみに変更した。 <p>(3) 自主事業化に向けた基盤整備</p> <p>財政基盤の安定化に向けて、トータルビューティ研修センター&サロン「結」にて、以下①②に取り組んだ。また広く取組を知ってもらうことを目的とし、①～③に取り組んだ。</p> <p>※ 今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、申請時予定していた取組から、以下に内容を変更し実施した。</p>
--	--

① 独自講座の実施

財政基盤づくりと支援の周知を図るための取組として、広く市民を対象に以下の講座を実施した。(ひとり親家庭には、受講料の半額免除制度を設けた。)

- ・令和2年4月～ 経絡式ヘッド講座
- ・令和2年9月～ フェイシャル講座
- ・令和3年2月～ 経絡式ヘッドアドバンス、経絡式ハンドトリートメント、経絡式フットトリートメント講座

令和2年度講座収益：377,300円

② サロンとしての運営

エステサロンとしてお客様に施術。利用客に、ビューティサミットのニュースレターを渡すなどして、ひとり親支援の取組の周知を図った。

(4月末～5月6日まで緊急事態宣言による休業)

③ 親子カフェの開催

周知を図るために、「結」にて、親子カフェを開催した(4月、9月、11月、2月)。

(4) ひとり親家庭の就労に資する講座としての指定制度の検討

モデル事業2年間の成果等を参考に、ひとり親家庭の親の技術習得と就労に向けた伴走支援をセットで実施する優良な講座の指定制度(=国の制度の対象外となっている国家資格が得られない美容等の講座などについて、登録の対象とできるかどうかを含め、「岡山市母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」の対象として市長が認めた講座として指定する制度)について検討するために、以下①～⑥を実施した。

① 「岡山市母子及び父子家庭自立支援教育訓練給付金事業」の利用促進

- ・ひとり親の方たちへの就労支援一覧チラシを作成した。

② ひとり親家庭の就労・転職等のニーズ調査

- ・おかやま親子応援メール登録者を対象にアンケート調査を実施した。90世帯から回答があり、アロマ・エステ・ネイルが雇用保険法で指定されている講座と同等のニーズがあることが明らかとなった。
- ・「ひとり親家庭の就労・転職等のニーズ調査アンケートまとめ」参照

③ 他都市の指定状況の調査

- ・電話で聞き取りという方法で確認し、先進事例がないことが明らかとなった。

④ ハローワークの求人状況、各種就労支援講座の利用状況と就労率の調査

- ・岡山労働局に対してヒアリングを実施した。各種就労支援講座の利用状況と就労率は把握していないことが明らかとなった。

⑤ 指定のための基準と判定方法を検討

- ・各種調査結果などをもとに、基準案と判定方法を検討し、案を作成した。

⑥ 指定講座制度の有効性だけでなく、本講座の指定の有効性について検討するために、次の(a)(b)を実施した。

(a) 作成した基準案に基づく本講座の有効性の検討

- ・基準案に照らし合わせ、総合的に「有効である」との判定をした。

(b) エステ等業界関係の他の講座の実施状況・就労状況の調査

- ・類似講座の実施状況、取得可能な資格の状況を、市内のスクールに対してアンケート調査を実施した。就労支援・就労定着支援は、ほぼどこも実施していないことが明らかとなった。

※「ひとり親家庭の母(又は父)就労支援講座に関するアンケート」参照

- ・地域での雇用ニーズについては、市内企業にアンケートを実施した。望まれる資格としては、フェイシャル・ボディ・トータルエステティシャンが上位を占めており、技術面以外の部分(人物面)では、向上心がありコミュニケーション能力が高い人材を求めていることが明らかとなった。

※「地域状況 企業の調査」参照

<取組の様子>

● 7月11日 開講式 (さんかく岡山)



開講式プログラム

1. 挨拶
 2. オリエンテーション
 3. エステティック概要
 4. 各コース授業開始
- 受講生 12 名でスタート。
団体だけでなく協働担当課である「こども福祉課」職員からの挨拶も入れ
安心感を提供。

● 7月～12月フェイシャル/ボディ/ネイルコースのスクーリングの様子
(フェイシャル/ボディ：トータルビューティ研修センター&サロン結)



フェイシャルコース



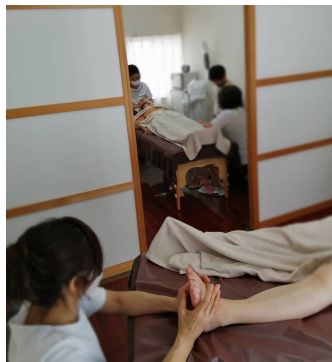
ボディコース



ネイルコース(アンビエントネイルスクール)

スクーリングを欠席した場合は補習で補い、全員が受講できるようにした。また在宅学習を補うために、復習用の動画を作成・共有し、LINEグループをつくり、参加者同士の仲間意識の醸成と、相互サポートできる体制を整えた。

● 9月5日 サロン研修体験 (トータルビューティ研修センター&サロン結)



23 名のご来店。受講生は「初めてお客様として研修としてきて実際に先生たちがエステティシャンとして大切にしているのが技術だけではない事がわかった」修了生からは「私でもできるんだ」という感想が聞かれ、技術者だけでなく接客面などの学習意欲の高まりも感じられた。

● 令和2年12月19日 修了試験・修了式（きらめきプラザ）



● 令和3年月1月23日 1期生2期生交流会(ゆうあいセンター)



1期生で就労している2名に、インタビュー形式・ディスカッション形式にて仕事や家庭との両立のことなど話してもらった。

2期生は「就労中」「内定者」「独立準備中」「就活中」と混在しているが、実際に当モデル事業を修了して頑張っている1期生の話聞き、「自分も頑張ろうと思える」「刺激になった」との感想を述べていた。1期生からは、自分が話す側に立ち2期生の方のためになるならと、改めて自分のやっていることを振り返れたという声が聞かれた。

座談会では、久しぶりに会えた受講生同士で楽しく会話をしていた。

※ 添付の講座生募集チラシ等、参照

事業実施経過	時期	講座	指定制度検討に関する調査
	令和2年 4月 令和2年 5月 令和2年 6月	チラシ作成 募集開始 事業への賛同及び求人について 企業へ案内	
令和2年 6月	受講希望者の面接を実施し受講生 を決定		6月：雇用ニーズの調査
令和2年 7月 ～ 12月	講座実施 テキストでの自宅学習と 実技スクーリング 開講式および実技スクーリング(フ ェイシャル/ボディ全8回)(ネイル全 11回)		7月：エステ業界関係の他の 実施状況・就労状況調査
令和2年 9月 令和2年 9月 ～10月	サロン研修 就労に向けた受講生の意向ヒアリ ング		9月：ひとり親家庭の就労・転職 等のニーズ調査
令和2年 12月	希望する企業とのマッチング(令和 3年3月も継続中)		10月：採用企業へのヒアリング 12月：2期生への受講満足度アン ケート実施、1期生へのヒアリング
令和3年 1月	講座最終修了テストの実施・修了式 1期生2期生の交流会実施		
令和3年 10月 ～3月現在	修了生の希望する企業とのマッ チング中		2月：労働局への就労支援講座 状況ヒアリング

実施のうえで連携
した団体とその内容

●求人募集企業

数	企業	募集求人数
1	A社	5名
2	B社	2名
3	C社	2名
4	D社	2名
5	E社	2名
6	F社	2名
7	G社	2名
8	H社	2名
9	I社	1名

●講座協力企業

数	スクール	内容
1	スクール a	ネイリストコース講師
2	スクール b	講座内容の検討に対する協力など

翌年度以後の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 次年度に一般施策（ひとり親家庭就労支援講座） <input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続し、次々年度に一般施策 <input type="checkbox"/> 次年度に提案団体の自主事業 <input type="checkbox"/> 市民協働推進モデル事業として事業を継続し、次々年度の自主事業 <input type="checkbox"/> その他（ 具体的な計画があれば記載してください。
----------	--